

活発な交流機会の創出

JTB旅ホ連



地域プロデューサー研修
日本一の星空間【阿賀野】ブランド戦略

地域振興・観光振興

本部事業計画を構成する4つの柱のうち「地域振興・観光振興」には特に地道な取り組みの継続が必要だ。具体的な取り組みは、16年度の「若手社員」の昼神研修からスタート。昨年からは、JTBが地域振興を進める社員向け研修として始めた「DMP（ディメンション・マネージメント・プロデューサー）研修」を旅ホ連会員向けにカスタマイズした「地域プロデューサー研修」を実施した。地域のリーダーを育成し、地域の魅力を再発見し、地域活性化を図ることを目的とした研修だ。

組織強化

宿泊販売の拡大のためには、旅ホ連、そしてその社員施設の組織力の強化が欠かせない。旅ホ連は、ホテルの組織強化策として、重要な人材の確保と、重要な職能となるのが、旅ホ連会員の確保が重要だと捉えている。17年は5月31日に東京のホスピタリティ・ツール専門学校を皮切りに4カ所で講演会を開催し、この中で講演会を開いた。かつての東京の専門学校日本ホテルスクールの特別授業では、滋賀の旅館「びわ湖花道」の社長、佐藤祐子氏が10、11月の2回にわたり講演。約280人の学生が聴講した。

三位一体大作戦の継続

旅ホ連と地域（行政）、JTBグループが三位一体となり、地域主導での着地型旅行商品の開発や地域ブランドプロモーションを実践する人材の育成と、JTBと協業した宿泊増売につながる新たな需要の掘り起こしと商品の作成を支援する取り組みが「三位一体大作戦」だ。地域振興、観光振興の礎となる連携強化の取り組みとして、今年度も継続していく。

旅ホ連と地域（行政）、JTBグループが三位一体となり、地域主導での着地型旅行商品の開発や地域ブランドプロモーションを実践する人材の育成と、JTBと協業した宿泊増売につながる新たな需要の掘り起こしと商品の作成を支援する取り組みが「三位一体大作戦」だ。地域振興、観光振興の礎となる連携強化の取り組みとして、今年度も継続していく。

地域プロデューサー研修の継続実施

JTBの47DMCの取り組みは、観光立国推進基本法が制定された07年から始まった。14年からは「地域創生」の国策が展開され、さまざまな取り組みが各地で進められている。そのような環境下でJTBの成功事例のストックも厚みを増し、研修のケーススタディが充実してきた。昨年8月30、31日に東京で地域プロデューサー研修を開催し、26人の若手経営者の参加があった。移動レッスンの阿賀野を推進協会の松仁事務局やJTB総合研究所の職員による講義やグループディスカッション、参加者間の交流会などを行った。

人手不足対策への積極的な取り組み

国内の経済状況の改善などもあり、旅館・ホテル業界の人手不足に拍車がかかる。中でも自分の時間や仕事のやりがい重視する若い世代の確保は難しい。働く場としての旅ホ連・ホテルの魅力を含め、さらにはその魅力を若い世代に伝えることが課題だ。

JTB旅ホ連共済

「JTB旅ホ連共済」(理事長 大西雅之)は、JTB旅ホ連会員の旅館・ホテルの経営者の「同じ宿泊業に携わる従業員のための独自の福利厚生制度が必要」との考えから1987年に設立。以来30年以上、旅ホ連のスケールメリットを生かし、加入員のために保養施設や給付内容のバリエーションを増やすなど、制度の充実を図ってきた。

優秀な人材の確保と従業員の長期定着へ

熊本地震災害を機に自然災害により甚大な被害を受けた場合の見舞金として、17年度も甲・見舞金約100万円(前年比10%)の支給を実施している。16年度の給付額には特別見舞金(前年比10%)の支給も含まれている。特に、療養見舞金、通院見舞金、入院見舞金が増加しており、加入員に還元してきた。16年度の特別見舞金は、前年の5割、たじ

旅ホ連会員の相互扶助制度

「JTB旅ホ連共済」(理事長 大西雅之)は、JTB旅ホ連会員の旅館・ホテルの経営者の「同じ宿泊業に携わる従業員のための独自の福利厚生制度が必要」との考えから1987年に設立。以来30年以上、旅ホ連のスケールメリットを生かし、加入員のために保養施設や給付内容のバリエーションを増やすなど、制度の充実を図ってきた。

旅ホ連会員の相互扶助制度

旅ホ連会員の相互扶助制度は、旅ホ連会員の旅館・ホテルの経営者の「同じ宿泊業に携わる従業員のための独自の福利厚生制度が必要」との考えから1987年に設立。以来30年以上、旅ホ連のスケールメリットを生かし、加入員のために保養施設や給付内容のバリエーションを増やすなど、制度の充実を図ってきた。

JTB旅ホ連共済

「JTB旅ホ連共済」(理事長 大西雅之)は、JTB旅ホ連会員の旅館・ホテルの経営者の「同じ宿泊業に携わる従業員のための独自の福利厚生制度が必要」との考えから1987年に設立。以来30年以上、旅ホ連のスケールメリットを生かし、加入員のために保養施設や給付内容のバリエーションを増やすなど、制度の充実を図ってきた。



旅ホ連ニースの活用

旅ホ連ニースの活用

宿泊販売の拡大のためには

宿泊販売の拡大のためには、旅ホ連、そしてその社員施設の組織力の強化が欠かせない。旅ホ連は、ホテルの組織強化策として、重要な人材の確保と、重要な職能となるのが、旅ホ連会員の確保が重要だと捉えている。



旅ホ連ニースの活用

旅ホ連ニースの活用

創業90周年

心きよらの旅 清風苑 SEIFUEN

エメラルドグリーン的美肌源泉と 清風苑のお料理、おもてなしで皆さまのお越しをお待ちしております。

ゆったりお風呂三昧

ホテル清風苑は、男女合わせて4つの大浴場に、2つの貸切風呂で、14の浴槽、うち6つが露天風呂、2つのサウナ、24時間お風呂三昧です。

エステサロン「Ananda」 至福のひとときをコンセプトに、心も身体もリラックスできる新しい形の温泉の楽しみ方を提案致します。

庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2
庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2
庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2	庭園大浴場「緑の湯」2

美人になれる月岡温泉

ホテル 清風苑

諏訪湖リゾート株式会社

2018年4月1日 井口グループ観光部門4施設の営業販促を統合し 諏訪湖リゾート株式会社として発足いたしました。

TEL.0254-32-2000

上諏訪温泉 RAKO 華乃井ホテル 浜の湯

下諏訪 聴泉閣 かめや 門前ひろば 食祭館

総合予約センター ☎0266-54-0333

〒392-0022 長野県諏訪市高島2-1200-3 http://www.suwako-resort.co.jp/